

平成25年度提案

提案番号	13-032	提案年月日	平成26年3月11日	受付年月日	平成26年3月13日	提案者	個人	区分	アイデア
------	--------	-------	------------	-------	------------	-----	----	----	------

提案件名	若手職員懇談会	提案の要件	市民サービスの向上に役立つもの
			● 事務能率が向上するもの
			経費の節減・収入の増加に資するもの
			行政事務運営の革新となるもの
			本市のイメージアップに係るもの
			その他公益上有効であるもの

現状及び問題点	提案の内容	期待される効果
<p>他部署に所属している職員と話す機会が少ないように感じる。特に、建物の棟が違う、また職種が違っていると、同じ敷地内に居ても所属部署以外の方の顔と名前が一致しないことがあり、困ることもある。また、若手職員で情報を共有し、備前市をよくするためのアイデアを語り合う場が少ない。</p>	<p>順番で2名程度取りまとめを行い、月に1～2回、若手職員（入庁5年目まで）が集まり、親睦を深め意見交換会を実施する。また、毎回話し合うテーマを決め、アイデアを出し合う会を設ける。今後の備前市を担う若手職員が協力しあえる環境ができる。</p>	<p>備前市職員の若手が集い、顔見知りになることで、業務で関わりを持つ際に物事を頼みやすくなる。さらに、先輩職員には相談しにくい若手だからこその悩みも、同じ境遇の者同士で解決策を考えることができる。</p> <p>また、様々な部署の若手職員が集まり、あるテーマについてアイデアを出すことは、今後備前市が発展するために実現可能な意見が出る可能性もある。そして、話し合ったアイデアを基に各部署で実現するために業務改善等を見込むことができると考えられる。</p>

關係課意見

採用	どちらでもない	否採用
<p>7人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●順番に誰かが核になり、月間単位くらいでテーマを変えて「夢を語る会」的にざっくばらんに開催すればよいと思う。 ●私も、一部、職員の顔と名前が一致しない人がおります。昼食の時間を利用し、大会議室を開放し、昼食を持ち寄り懇談するとか、いろいろな方法が考えられますので、ぜひ実施してみたらどうかと思います。 ●あくまで当事者たちの希望に任せるべきことではあるが、思っているも言い出せないという状況なのであれば、積極的に誰かが音頭をとるべきであると思う。 ●組織として是非必要な取組みと思います ●職員組合の福利厚生でもなかなか集まることのできない中で、職員全体が強制的にでも全員参加できるものがあれば、お互いを知るチャンスにはなると思います。やはり、音頭をとる有志が必要ですが、婚活にもつながるのではと期待します。 	<p>5人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手に限定する必要はない気がします。研究グループ等の制度が既にあるので、参加しやすいようにしてはいかがでしょうか。 ●強制的にしても駄目だと思います。若手職員には、いろいろな活動での勧誘もあり、そういう場所で知り合った、他部署の先輩などと交流をすることで、十分だと思います。 ●以前もこのようなのがあったような？その後どうなったのか？ 	<p>2人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まず第一に、このような場を自分たちで作る気概が欲しいです。場を与えられるのではなく、仕事や仕事以外の接点から自ら人脈を広げていくことが必要です。臆せず、どんどん自分から動けるようになりましょう。 ●若手職員が沢山入るようになり、メンター等様々な取り組みがされ、先輩とのつながりについては多少手を貸す必要があると思いますが、懇親会については人によっては苦手な人も居ます。自分が先輩にして貰ってうれしかったこと、もっとこうしてもらいたかったことなどを、提案するのではなく自主的にしていっていただけたらと感じました。